

団体の紹介

「NPO 法人地域福祉サポートちた」では、自分らしく、人間らしく生きていける地域づくり・まちづくりを目指しています。「お互い様」の精神を啓発し、分野を超えた情報交流ネットワークを広げ、社会を変える大きな力にしていく中間支援組織です。人材養成事業を中心に、情報交流促進事業、啓発・相談事業、調査・研究・提言事業、市民活動支援事業の5つの取り組みがあります。

この団体が生まれた理由

知多半島では1990年東海市で家族介護の経験から、一人の男性が在宅サービス団体を始めて以来、市民互助型在宅福祉活動が活発化していきました。介護技術の会得や団体設立時の運営についての情報交流会の機会を

意識的に作り始めた人たちによって、サポートちたの母体となる「ちた在宅ネット」が1998年5月に誕生。

その後、1998年のNPO法施行や2000年の介護保険制度導入をきっかけとして各団体が組織化・事業化をさらに進めることとなり、それらの中間支援組織として1999年8月に「地域福祉サポートちた」を設立、12月にNPO法人認証されました。


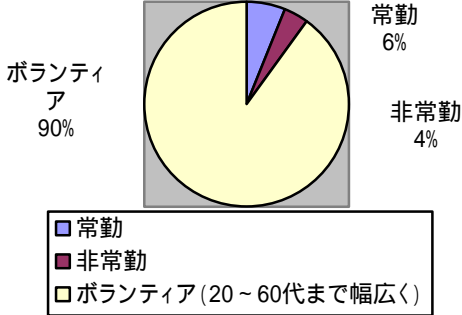
今までの活動内容と今後の課題

人材養成事業は、ホームヘルパー2級養成講座をはじめ行動援護従事者養成研修講座を運営しています。NPO現場見学バスツアーは、知多半島で活躍中の団体を一日で約4か所バスでまわり、現場を目で見て、団体の方からお話を伺う内容になっており、参加者は一般の方から地縁組織やNPO職員、行政職員と幅広く支持され、2010年8月に定例開催100回を超えてなお大人気の事業です。

市民活動支援事業は、「障がい児運動クラブ ふいっと」と、ワンデイシェフ方式を取り入れた「手づくりカフェ Ada-coda」を運営しています。男女を問わずさまざまな世代の人たちが集まり、運動を通じて、またお料理作りをきっかけにした、地域の人たちの新しい交流やネットワークづくりを応援しています。

「福祉とは遠い存在ではなく、身近な生活全般を支える自分ごと」を伝えるために、広報には公の協力が必要と同時に課題でもあります。しかし、人と人とのつながりの中から本当の情報が伝わるため、「市民として育ちあえる人材育成」と、「地域交流の場づくり」の両輪で活動していきます。



事業者名	特定非営利活動法人 地域サポートセンターちた									
所在地	〒478-0047 愛知県知多市緑町 12 - 1 知多市市民活動センター1階									
電話	0562-33-1631									
FAX	0562-33-1743									
HP アドレス	http://www.cfsc.npo-jp.net/									
メールアドレス	spchita@ams.odn.ne.jp									
代表者	代表理事 岡本 一美									
参加者	<p>計 100 名 中心年代 40 代</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加者タイプ</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア (20~60代まで幅広く)</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>常勤</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table>		参加者タイプ	割合	ボランティア (20~60代まで幅広く)	90%	常勤	6%	非常勤	4%
参加者タイプ	割合									
ボランティア (20~60代まで幅広く)	90%									
常勤	6%									
非常勤	4%									

(最終校正日時 2010/12/14)